

2003年も早いものでもう直ぐ終わりです。今年もいろいろな出来事があったと思います。本年も国際サービスシステムをご愛顧頂きありがとうございました。このニュースも作り始めてこの回を含め43作、以外と長続きしていることに少しびっくりしています。毎年12月に発行するニュースは、その年にご紹介したニュースの概略をお話しております。今回も今年発行したVOL.32～VOL.42の概略を再度ご紹介したいと思います。

VOL.32 各種排気ガス規制の話

2003年は排気ガス規制の話の数多くご紹介しました。この回もNOX・PM法、八都府市ディーゼル車規制、建設機械1次・2次排気ガス規制についてお話させて頂きました。2004年度特に注意しなければならないのは、建設機械の排気ガス規制です。現在コルコ製 RK160-2・RK250-3・RK350 RK450-2 タダノ製 TR250M-5(FX)・TR500M-2 (クローラークレーンでも載替えに適合できる機種があります。お問い合わせください。) 各型式のラフタークレーンに排気ガス対策エンジンを載替える事により、1次規制に適合することはご存知だと思いますが、**期限が設けられており2004年9月1日までにエンジン載替え工事を行わないと1次規制には適合しません。**つまり9月2日にエンジン載替え工事を行っても、右の写真のステッカーは発行されません。国際サービスでは、エンジン載替え工事を取り扱っております。是非お早めにご連絡ください。



VOL.33 走行減速機の話

ラフタークレーンの走行減速機について、油漏れやキヤが破損した写真をまじえご紹介しました。大事なことは、油漏れの点検及びオイルの定期交換です。

VOL.34 ターボチャージャーの話

現在の建設機械のエンジンに多く採用されている、ターボチャージャーの構造やメンテナンスについてご紹介しました。ターボのメンテナンスで一番大事なことは、エンジンオイル油量点検・エンジンオイル・オイルエレメント・エアエレメントの定期交換です。エンジンオイルやエレメント類の交換履歴が判るように管理することも大切です。

VOL.35 七都府市ディーゼル車運行禁止条例の話

今年一番多くこのニュースで取り上げた、ディーゼル車規制の内容についてご紹介致しました。国際サービスにも多くのDPF・酸化触媒取付のご依頼を頂き、ありがとうございました。現在DPF・酸化触媒の品薄状態が酷く、一部のお客様に大変ご迷惑をおかけしており、申し訳ございません。少しでも早く取付できるように、メーカーに申し入れていますので、もう少しお待ちください。

VOL.36 クレーンを運転するために必要な力学の知識の話

玉掛けワイヤーにかかる張力・シブ(滑車)を使用したときの引っ張る力・慣性の法則などクレーンの運転免許試験や講習時に勉強する基礎的な力学の知識をご紹介しました。知ってて当然のことと思いますが、初心にかえる意味も込めてお話させて頂きました。

VOL.37 2003年夏を迎える前のお勧め整備の話

夏に起きやすい故障をふまえ、毎年この時期に夏を迎える前のお勧め整備をご紹介しています。今年は記録的な冷夏で夏場特有の故障が少なかったように感じっていますが、エンジンのオーバーヒートなどは必ず1件から2件夏場に起きています。右の写真はオーバーヒートを起こし、傷付いたエンジン内部の写真です。**傷付いたシリンダーライナー**がお判りになると思います。このような事を起こさない為にも、日常の点検・整備は重要な役割を担っています。エンジンのオーバーヒートを防ぐ為にはラジエターの水量点検・水の定期交換、ファンベルトの点検調整・定期交換が必要です。又水温計にも注意しながら走行や作業を行ってください。



VOL.38～VOL.41 八都府市ディーゼル車規制の話(1)～(4)

規制に関してのQ&A・取締りの実施内容・輸入車の取扱い・取締り結果・八都府市確認証明書など東京都から発表されることを中心にお話させて頂きました。11月4日付けで違反者4者に対して運行禁止命令がだされ、2004年4月からは、神奈川県も取締りを開始しますので、併せて取締りが強化されることが予想されます。

VOL.42 油圧の話

基本的な油圧の法則パスカルの原理と建設機械で多く採用されている油圧ポンプの構造についてご紹介させて頂きました。重たいブームや車体をシリンダーで持ち上げることができるわけが少しはお判りになったと思います。又油圧ポンプの構造を知ること、作動油やフィルター・エレメントの定期交換が必要なお判りになったと思います。

ご不明な点、分からない事等ありましたら是非ご相談ください。